No.2561

アカヤシオにはちょっと早いかな

蕨　山

実施日　２０１２年４月７日（土）
天　候　晴れのち曇り
リーダー　遠井　謙策
参加者　佐藤金治、福島政幸、涌井良明、鈴木政三、山崎富美恵、鈴木恵美子、石附智江、遠井謙策、中村友子、伊藤久雄、石原勝正、関塚七海、石附智子　計13名
費　用　交通費　鉄道900円(池袋起算)、ﾊﾞｽ1,450円、計2,350円
タイム　名郷BS(9:10)登山口(9:27)尾根上(10:08)分岐(11:17)蕨山展望台(11:31－12:14)藤棚山(12:37)大ヨケの頭(13:12)金毘羅神社跡(14:09)連慶橋BS(14:55)
データ　積算距離　１０．１９km
総上昇量　９５９m
移動平均速度　２．９km/h
行動時間　５時間４５分

4 月上旬の好天、飯能駅からのバスは満員だった。終点の名郷で降り各自準備運動、明るい青空の下しばらく林道を行く。



小さな丸太橋を渡っていよいよ登山道へ。杉林のジグザグ道は結構な急登で、皆の喘ぎ声が聞えてくる。

40 分程で尾根筋へ出る。途端に冷たい西風に見舞われ思わず一枚羽織る。整備された道をしばらく行くが、途中から小さいながら急坂が連続する。左右は花を付け始めた馬酔木が繁茂、脆い岩稜も現れきつい登りだが、眼下の景色にも助けられ踏ん張りきって 11:31 蕨山山頂へ到着。直前、ちょっと離れた何も無い「本当の」山頂へも足を伸ばし記念写真だけ撮った。





とまれ、実質の山頂では見渡す限りの山また山の展望を楽しみつつベンチに座り各自昼食。この頃からうっすらと雲が掛ってきたなと感じていたが、なにやら白く小さなものが舞い出した。うわーっ風花ではないか！気温も下がりしばしの白い妖精の舞う姿に肩をすぼめ驚き見入る。



下りとはいえ距離的にはまだ 2 倍強が残っている。さあ急ぎ降りよう。直下の急坂を駆け降りるように下る。小雪が激しくなる。毛糸の帽子や手袋を取り出す。でもそれも一時的、やがて緩やかな尾根道となり気が付くと早や藤棚山を通過、檜に代わった木々を抜けるようにずんずん進む。奥多摩方面の山々が良く見えるようになると間もなく大ヨケの頭。



林道を横断し「名栗湖ネイチャートレイル」コースをルンルン鼻歌まじりに進む。クヌギ・イロハモミジ・ヤマザクラの苗木が移植してあったり所々に「樹木の不思議」的クイズボードがあったりと、楽しみながらゆる尾根を行くと金毘羅神社跡に出る。雷に打たれて焼失したのか小さな小さな新しい石の祠があるだけ。



バスの時間を睨みつつ、さわらびの湯ではなく鳥居観音を経由して一つ上流のバス停へ向うことにミニ変更。咲き始めた紅紫色のミツバツツジが美しい。読み通り 5 分前に連慶橋 BS へ到着、又バスに揺られ帰路についた。

（記・遠井　謙策）
（写真提供・涌井良明／石原勝正）